

# 2020年 審査員一覧

---

## 審査員(最終審査会)

---

- 各務 茂夫

国立大学法人東京大学 大学院工学系研究科 教授

産学協創推進本部 副本部長

一橋大学商学部卒、スイス IMEDE (現 IMD) 経営学修士 (MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストンコンサルティンググループを経て、1986年コーポレートディレクション (CDI) の設立に創業パートナーとして参画、取締役主幹、米国 CDI 上級副社長兼事務所長を歴任。経営コンサルタント歴 15 年。学位取得後、世界最大のエグゼクティブサーチ会社の一つ、ハイドリック&ストラグル社パートナー (ボード・プラクティス) に就任。我が国企業のコーポレートガバナンス改革に取り組む。2002 年東京大学大学院薬学系研究科「ファーマコビジネスイノベーション講座」教員となり、2004 年東京大学産学連携本部 教授・事業化推進部長に就任。2004 年～2013 年まで (株) 東京大学エッジキャピタル監査役。2013 年 4 月から東京大学産学連携本部 教授・イノベーション推進部長 (～2020 年 3 月) 大学発ベンチャー、学生発ベンチャー支援 (インキュベーション、メンタリング、起業相談等)、学生起業家教育、研究者イノベーション人材育成教育、企業との大型共同研究創出に取り組む。日本ベンチャー学会理事・会長 (2020 年 1 月～)、日本ベンチャー学会第 1 回松田修一賞受賞 (2015 年)。NPO 法人アイセックジャパン代表理事・会長 2020 年 4 月 東京大学大学院工学系研究科教授、産学協創推進本部副本部長に就任。



- 
- 安部 博文

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ベンチャー支援部門 特任教授

博士(経済学)。電気通信大学認定ベンチャー企業支援、ベンチャービジネス論を担当。事業計画を拝見する場合、「誰が・誰に・何を・いくらで・いつ・どこで・どのような方法で提供する話か」、「類似・先行の商品・サービスとの違いと優位性は何か」、「お客様・ユーザにとっての費用対効果は何か」の説明に注意します。これらの項目の説明が出来ているかどうか、をチェックポイントにしています。



---

- 阿部 浩之

国立研究開発法人国立成育医療研究センター知財・産学連携室 室長

大手外資系製薬メーカーほか、医薬品業界において、川上(研究開発)から川下(流通・調剤・販売)まで、あらゆる職種に従事。2015年、国立成育医療研究センター 知財・産学連携室長に就任し、小児製剤開発、産学連携、センター内のシーズ発掘およびマッチング企業の探索を推進。2017年、日本医療研究開発機構臨床研究・治験基盤事業部に出向し、橋渡し研究支援拠点や臨床研究中核病院等においてアカデミア等による革新的な基礎研究の成果を一貫して実用化に繋ぐプログラム等を推進。1986年、富山医科薬科大学(現 富山大学)薬学部薬科学科卒、2013年、武蔵野大学大学院薬科学研究科博士後期課程修了(博士(薬科学))、薬剤師、ITストラテジスト(経済産業省認定 情報処理技術者レベル4)。



- 後藤 吉正  
国立研究開発法人科学技術振興機構 理事  
博士(工学、技術経営)  
1985年 カーネギーメロン大学コンピューターサイエンス学科 客員研究員(1988年3月まで)  
2008年 松下電器産業株式会社 上席理事  
2011年 基準認証イノベーション技術研究組合 理事長  
2012年 国立大学法人名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 教授  
2015年より現職



- 
- 田村 真理子  
日本ベンチャー学会・事務局長  
(株)日本経済新聞社、(株)日経BP社を経て、2000年より日本ベンチャー学会事務局長。早稲田大学アントレプレヌール研究会理事、早稲田大学女子大生起業家交流会代表。経済産業省、文部科学省等政府委員等。主にベンチャー企業や起業家に関する調査・取材を手掛けながら、起業家教育や事業創造論、事業計画、キャリアクリエイト等を早稲田大学、上智大学、事業創造大学院大学等で担当している。  
日本ベンチャー学会では1,200人の会員を中心に、中小・ベンチャー企業が創出しやすいエコシステムの環境創りに向けた産学官連携の支援活動などを行っている。



---

- 尾崎 典明

エスファクトリー・代表

2004年九州工業大学大学院・工学研究科物質工学専攻修了

同年コンサルティング会社へ入社、中小から大企業に対する新規事業・新商品開発支援および知財戦略立案等の業務に携わる。

2009年エスファクトリーを創業、企業に加え、地方自治体、NPO、スタートアップに対しアドバイス等行う傍ら、経済産業省や中小企業基盤整備機構等のコーディネータ、アドバイザー等を歴任。

また一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズではスタートアップに対し実践的なメンタリング等を行う。およそ17年間に渡り、ものづくりやサービス、業種業態問わずまたその事業ステージによらず、それぞれの企業が有する課題に応じた支援を実践してきたことから、日本全国に企業や官公庁、地方自治体、大学等、幅広いネットワークをもつ。

現在、筑波大学国際産学連携本部産学連携教授、一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ副代表理事も務める。日本を元気にするため、日々泣いたり笑ったりしながらも、全国の現場で志ある起業家の皆さんのお手伝いをしています。愛嬌とフットワークの軽さが持ち味です。



## 審査員(書類審査・ピッチ審査)

---

- 井本 潤一

ニッセイ・キャピタル株式会社 シニアベンチャーキャピタリスト

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。

富士フィルム(株)にて医薬品等の研究開発に従事したのち、Thomson Reutersにて特許・文献情報関連業務に従事。

現在は、ニッセイ・キャピタル(株)にて主に研究開発型ベンチャー企業への投資を担当。



- 伊藤 毅

Beyond Next Ventures 株式会社 代表取締役社長

2003年東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻修了後、ジャフコ入社。ジャフコにて主にリードインベスターかつ社外取締役として支援した先には、CYBERDYNE(2014年3月東証マザーズ上場)、Spiber、クオンタムバイオシステムズ、マイクロ波化学等があり、大学発の技術シーズ段階からの事業化支援および投資活動に関して多数の実績と経験を有する。2014年7月にジャフコを退社し、2014年8月に技術系スタートアップへのインキュベーション投資に特化した独立系アクセラレーターであるBeyond Next Ventures 株式会社を創業し、代表取締役に就任。2015年2月に設立した1号ファンド(ファンド総額55億円)、2018年10月に設立した2号ファンド(ファンド総額100億円超)を運用している。現在、リバーフィールド株式会社、株式会社 CureAppなどの社外取締役を兼務。技術系ベンチャーが今後の日本の新産業を創っていくと信じ、創業者と共に、世界に貢献できる技術系ベンチャーを数多く支援していきたいと活動中。



- 内田 毅彦

株式会社日本医療機器開発機構 代表取締役

内科・循環器科専門医。ハーバード公衆衛生大学院修士・ハーバード経営大学院 GMP 修了。日本人として初めての米国食品医薬局 (FDA) 医療機器審査官を務める。外資系医療機器メーカー勤務経験も有し、医療機器開発のスペシャリスト。医療機器開発のプロセスに幅広く精通し、多領域でグローバル製品の事業化を行っている。医療機器以外では再生医療、プログラム医療機器、ヘルスケアサービス等のインキュベーションも実施している。



- 各務 茂夫

国立大学法人東京大学 大学院工学系研究科 教授

産学協創推進本部 副本部長

一橋大学商学部卒、スイス IMEDE (現 IMD) 経営学修士 (MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ボストンコンサルティンググループを経て、1986 年コーポレートディレクション (CDI) の設立に創業パートナーとして参画、取締役主幹、米国 CDI 上級副社長兼事務所長を歴任。経営コンサルタント歴 15 年。学位取得後、世界最大のエグゼクティブサーチ会社の一つ、ハイドリック&ストラグル社パートナー (ボード・プラクティス) に就任。我が国企業のコーポレートガバナンス改革に取り組む。2002 年東京大学大学院薬学系研究科「ファーマコビジネスイノ

ベーション講座」教員となり、2004年東京大学産学連携本部 教授・事業化推進部長に就任。2004年～2013年まで(株)東京大学エッジキャピタル監査役。2013年4月から東京大学産学連携本部 教授・イノベーション推進部長(～2020年3月)大学発ベンチャー、学生発ベンチャー支援(インキュベーション、メンタリング、起業相談等)、学生起業家教育、研究者イノベーション人材育成教育、企業との大型共同研究創出に取り組む。日本ベンチャー学会理事・会長(2020年1月～)、日本ベンチャー学会第1回松田修一賞受賞(2015年)。NPO法人アイセックジャパン代表理事・会長 2020年4月 東京大学大学院工学系研究科教授、産学協創推進本部副本部長に就任。



- 曾我 弘

株式会社カピオン 代表取締役

新日鉄退社後、1991年～2010年までシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業 Eidesign Technologies, Inc. を設立、経営。

1996年に Spruce Technologies, Inc. を設立。DVD オーサリングシステムを開発・商品化し、今日の DVD 普及の一翼を担う。旗艦商品「DVDMaestro」は最初の顧客が Disney でハリウッドでのデファクト標準になった。最終的に、同社を Apple へ売却。

その後 SVJEN(NPO)を設立し、バイオ関連ビジネスや、日米のスタートアップのメンターとして支援活動を行う。2010年末に帰国後、能登左知と(株)カピオンを共同で設立し NEDO と協力してスタートアップ企業支援を行う。2012年 Blue Jay Energy をシリコンバレーに設立、日本の技術をもとにグローバル事業展開を推進。Kapion は大学発ベンチャー支援(東大)やメンター活動と並行して、慶應大学リーディング大学院で起業講座を担当(2012～2016)。現在名古屋大学卓越大学院の起業メンター。また一般社団法人カピオンエデュケーションズ(NPO)主催の高校生を対象とした国際起業家育成イベント「GTE(r)2016 イノベーションチャレンジ」を和歌山市で開催。コロナ禍のため2020年から高校生を対象とした DECA Japan の Online 起業大会を開催中。



- 前田 信敏

NV Ventures 株式会社 代表取締役社長

日本インベストメント・ファイナンス株式会社(現大和企業投資株式会社)や、ウェルインベストメント株式会社勤務を経て、2019年 NV Ventures 株式会社を設立し、代表取締役社長に就任。20年以上に渡り、大学発を中心とする技術系スタートアップの支援を行なっている。文部科学省(現 JST)START プロジェクト事業プロモーター、内閣府技術委員・アドバイザー等を歴任。現在、NEDO 事業カタライザー、川崎市 Kawasaki Deep Tech Accelerator メンター、K-NIC サポーター、KSP イノベーションビジネススクールメンター、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 イノベーション委員会 委員等を務める。



- 松田 一敬

合同会社SARR 代表執行社員

慶応大学経済学部卒業後、山一証券(株)証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当する。その後、国内初の地域密着型ベンチャーキャピタルを設立。2000年6月に札幌 Biz Cafe を設立、サッポロバレーの IT ベンチャーを支援。地元 IT 企業の株式公開に繋げる。2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号(北海道大学発)の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事



業化の実績を積む。2011年4月に合同会社SARRを設立。起業家教育、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。



- 東 博暢

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 主席研究員

大阪府立大学大学院工学研究科(現:電子・数物系専攻)修士課程修了。ベンチャー支援や社会企業家育成支援、ソーシャルメディアの立ち上げを経て、2006年日本総合研究所入社。情報通信分野(ICT)を中心に、PMI、新規事業策定支援、社会実証実験を通じた法制度改正・ガイドライン策定支援等のコンサルティング/インキュベーション活動実施している。ICT融合領域として、FinTech、メディカル・ヘルスケア、都市開発(スマートシティ)、サイバーセキュリティ、教育等、幅広く対象としている。近年は、政府や海外技術系シンクタンクやアクセラレーターと連携し、ロボット・AI、バイオ・ライフサイエンス等の科学技術の商業化を推進するオープンイノベーションプログラムを実施し、技術系ベンチャー支援・起業家支援にも取り組む。その他、総務省等の政府機関、自治体の委員、民間団体の理事、外部アドバイザー等も歴任している。



(順不同)